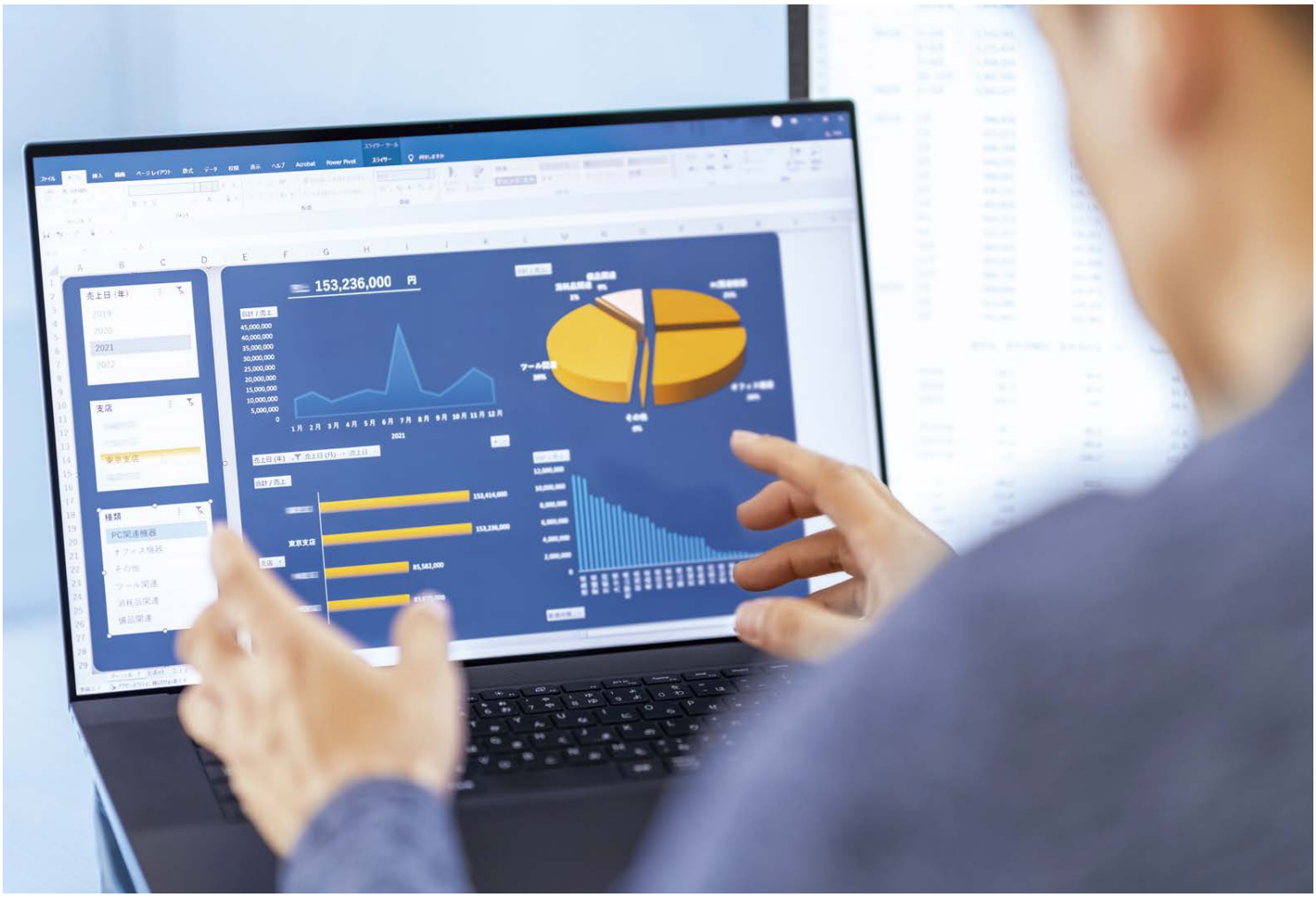
景況レポート

2023年
春号

Contents

1. 第80回伊勢崎佐波地区中小企業景気動向調査
2. 第191回特別調査
「中小企業におけるデジタル化への対応について」
3. 企業紹介
アライクリーンタオル株式会社



アイオー信用金庫
〒372-8666
群馬県伊勢崎市中央町20番17号
TEL：0270-30-5001

伊勢崎商工会議所
〒372-0014
群馬県伊勢崎市昭和町3919
TEL：0270-24-2211

Ⅰ　全業種（回答368社･･･回答率100%）

業況判断D.I.は、わずかながら悪化、来期も悪化傾向で停滞の予想

●今期（2023年1～3月期）の業況

今期の全業種の業況判断D.I.は△5.2と、前期との比較で0.6ポイント下回り、わずかながら悪化となりました。

項目別の業況判断D.I.では、売上高は△3.3（前期比△2.2）、資金繰りは△8.7（前期比△2.4）、採算△17.4（前期比△3.3）、従業員増減△2.7（前期比△3.2）と小幅ですが全項目で悪化しています。

業種別の業況判断D.I.においては、建設業・不動産業、小売業は改善、製造業、サービス業は悪化、卸売業は横ばいとなっています。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他2団体が実査した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全業種の業況判断D.I.で全国調査を15.9ポイント上回りました。業種別では、サービス業を除き10ポイント以上全国調査を上回る結果となっています。

●来期（2023年4～6月期）の業況

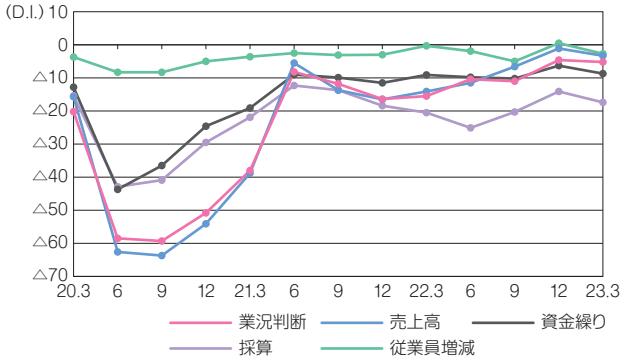
来期の業況判断D.I.の見通しは△6.0と今期との比較でわずかながら0.8ポイントの悪化を予想しています。項目別業況判断D.I.見通しでは、売上高は悪化しますが、他の項目はわずかながら改善する見込みとなっています。

また、業種別の業況判断D.I.見通しでは、製造業は小幅改善、小売業はわずかながら改善する見込みですが、卸売業、建設業・不動産業、サービス業は悪化の予想となっています。

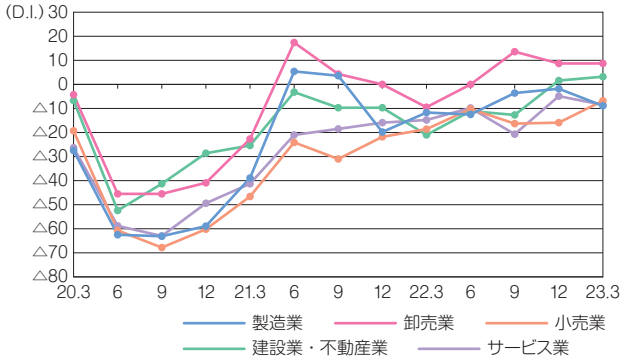
■業種別天気図

	前　期 2022年10～12月期	今　期 2023年1～3月期	来期予想 2023年4～6月期	全国調査 2023年1～3月期
全業種	△4.6	△5.2	△6.0	△21.1
製造業	△1.8	△8.9	△4.5	△19.4
卸売業	8.7	8.7	4.3	△16.3
小売業	△15.9	△6.8	△5.7	△31.5
建設業 不動産業	1.6	3.2	△6.3	△18.7
サービス業	△4.9	△8.5	△11.0	△16.6

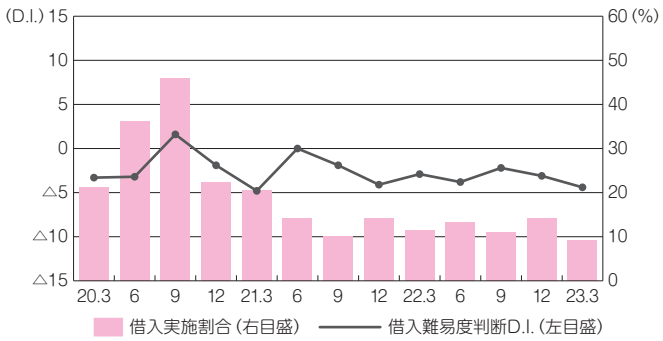
■項目別業況判断D.I.



■業種別業況判断D.I.



■借入実施割合・借入難易度D.I.



Ⅱ　製造業（回答112社･･･回答率100%）

■景況

今期の業況判断D.I.は△8.9と、前期との比較で7.1ポイント悪化しました。全国調査との比較では、業況判断D.I.で10.5ポイント上回りました。

業種別にみると、印刷、金属プレス・メッキは改善していますが、金属製品、機械器具、輸送機械、プラスチックは悪化しています。

項目別には、資金繰りを除きすべての項目で悪化していますが、原材料仕入単価は小幅ながら低下しています。

来期の業況判断D.I.は△4.5と好転を予想しており、項目別にもすべての項目で好転を予想しています。また、原材料仕入単価も低下の見込みです。

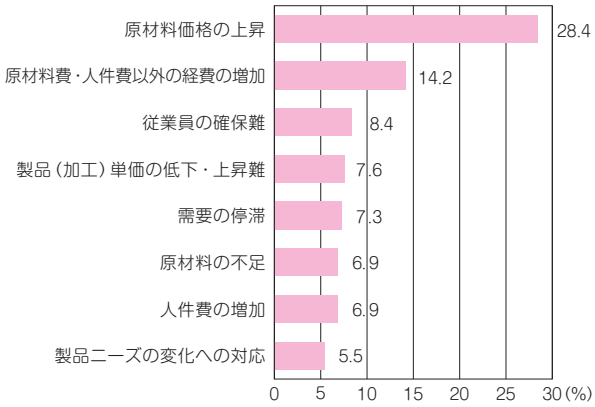
経営上の問題では、「原材料価格の上昇」が28.4%、「原材料・人件費以外の経費の増加」14.2%、「従業員の確保難」8.4%で原材料・経費が最大の懸念材料になっています。

（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　　況	△ 1.8	△ 8.9	△ 4.5	△ 19.4
売上（加工）高	1.8	△ 6.3	△ 3.6	△ 4.7
資 金 繰 り	△ 13.4	△ 11.6	△ 8.9	△ 16.3
採　　算	△ 14.3	△ 21.4	△ 14.3	△ 30.8
原材料仕入単価	62.5	59.8	50.0	82.9
原 材 料 在 庫	0.9	△ 2.7	△ 0.9	△ 3.0
従 業 員 増 減	3.6	△ 0.9	0.0	△ 5.9
設 備 操 業 率	4.5	△ 4.5	△ 0.9	△ 9.6

■主要業況判断D.I.の推移

■経営上の問題点（複数回答）



■業種別の状況

【輸送機械】

業況判断D.I.は、△16.7と前期比16.7ポイント悪化しています。来期は△33.3とさらに悪化する見込みです。

項目別では、原材料仕入単価は33.3と前期比66.7ポイント低下しましたが、設備操業率は大幅な悪化で、売上高も悪化、採算・資金繰りは好転しているもののマイナス水準で厳しい状況が継続しています。また、原材料在庫は大幅に減少しています。

経営上の問題点は、「原材料価格の上昇」が33.3%、「従業員の確保難」15.2%、「人件費の増加」、「製品ニーズへの対応」がともに12.1%となっています。

【機械器具】

業況判断D.I.は、△16.7と前期比9.0ポイントの悪化となりました。来期も△16.7と横ばいが見込まれています。

項目別では、設備操業率は大幅に改善しているものの、売上高、採算は悪化しています。また、原材料仕入単価は33.3と前期比35.9ポイント低下しました。

経営上の問題点としては、「原材料価格の上昇」が21.4%、「原材料費・人件費以外の経費の増加」17.9%、「原材料の不足」、「製品単価の低下・上昇難」がともに10.7%となっています。

【金属製品】

業況判断D.I.は、△4.5と前期比13.6ポイントの大幅な悪化となりました。来期の業況判断D.I.は、9.1と今期比13.6ポイントの改善を見込んでいます。

項目別には、売上高、採算、設備操業率ともに悪化しており、原材料仕入単価も72.7と9.1ポイント上昇し、原材料在庫は増加、資金繰りは横ばいとなっています。

経営上の問題点については、「原材料価格の上昇」28.0%、「原材料・人件費以外の経費の増加」20.0%、「製品単価の低下・上昇難」、「需要の停滞」、「従業員の確保難」が各10.0%となっています。

【金属プレス・メッキ】

業況判断D.I.は、△10.0と小幅ながら前期比3.3ポイント改善し、来期も△10.0と横ばいが見込まれています。

項目別には、売上高、資金繰り、採算ともに改善していますが、原材料」仕入単価は大幅に上昇しており、設備操業率は悪化しています。

経営上の問題点については、「原材料価格の上昇」29.6%、「原材料費・人件費以外の経費の増加」14.8%、「製品（加工）単価の低下・上昇難」、「需要の停滞」がともに11.1%となっています。

【印刷】

業況判断D.I.は、△25.0と前期と比較して12.5ポイントの大幅改善となり、来期の業況判断D.I.も横ばいの見込みです。

【プラスチック】

業況判断D.I.は、0.0と前期比25.0ポイントの大幅な悪化となりましたが、来期の業況判断D.I.は14.3ポイント改善する見込みです。

Ⅲ　卸売業（回答23社･･･回答率100%）

■景況

今期の業況判断D.I.は8.7と、前期との比較では横ばいですが、来期は4.4ポイント悪化する見込みです。全国調査との比較では、業況判断D.I.で25.0ポイント上回りました。

項目別では、売上高、採算ともに改善しています。

また、売上単価、仕入単価とも低下しています。

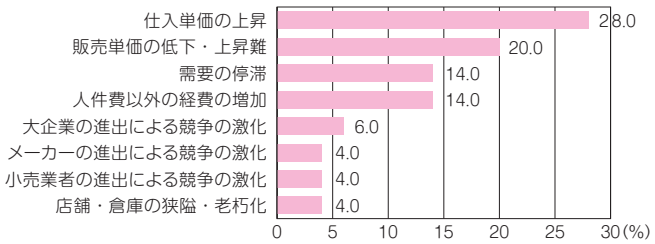
経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」が28.0%、「販売単価の低下・上昇難」20.0%となっています。

業種別では食料・飲料卸売業の今期の業況判断D.I.は28.6と前期比28.6ポイント改善していますが、来期は14.3と14.3ポイント悪化の見込みとなっています。

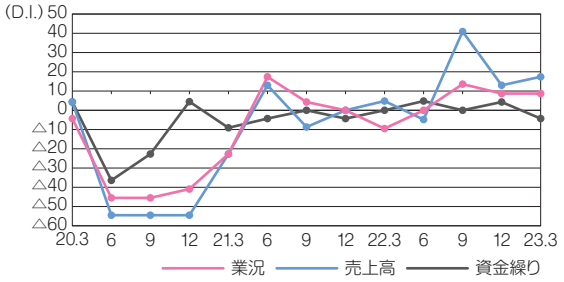
（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　　況	8.7	8.7	4.3	△ 16.3
売　上　高	13.0	17.4	4.3	0.8
資 金 繰 り	4.3	△ 4.3	△ 8.7	△ 11.7
採　　算	△ 13.0	△ 8.7	△ 8.7	△ 22.5
売 上 単 価	39.1	8.7	8.7	52.1
仕 入 単 価	60.9	52.2	39.1	81.4
在 庫 数 量	△ 4.3	13.0	0.0	0.5
従 業 員 増 減	0.0	△ 4.3	4.3	△ 2.9

■経営上の問題点（複数回答）



■主要業況判断D.I.の推移



Ⅳ　小売業（回答88社･･･回答率100%）

■景況

今期の業況判断D.I.は△6.8と前期比+9.1ポイント改善しています。全国調査との比較では、業況判断D.I.で24.7ポイント上回っています。

項目別では売上高、資金繰りは横ばいですが、客単価は低下し、仕入単価も引続き高く、在庫数量は小幅減少で、採算は悪化しています。

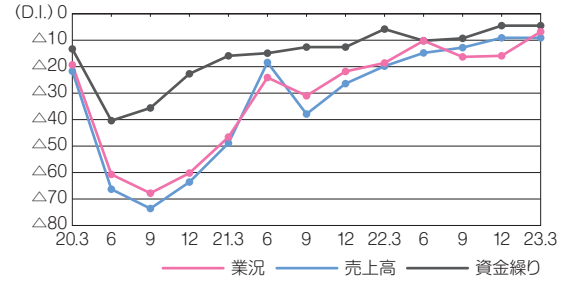
来期の業況判断D.I.は△5.7と、今期との比較で1.1ポイント改善する予想になっています。

経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」が20.9%、「消費者ニーズの変化への対応」18.6%についで「大型店・中型店の進出による競争の激化」13.0%となっています。

（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　　況	△ 15.9	△ 6.8	△ 5.7	△ 31.5
売　上　高	△ 9.1	△ 9.1	△ 9.1	△ 19.4
資 金 繰 り	△ 4.5	△ 4.5	△ 3.4	△ 25.1
採　　算	△ 14.8	△ 17.0	△ 19.3	△ 39.1
客　単　価	0.0	△ 8.0	△ 6.8	△ 7.3
仕 入 単 価	42.0	44.3	40.9	64.9
在 庫 数 量	1.1	△ 2.3	△ 3.4	△ 12.7
従 業 員 増 減	△ 1.1	△ 3.4	△ 3.4	△ 3.6

■主要業況判断D.I.の推移



■業種別の状況

【飲食料品小売業】【飲食店】

飲食料品小売業の業況判断D.I.は、△16.0と前期比0.7ポイントのわずかながらの改善で、来期も△16.0と横ばいを見込みます。

飲食店の業況判断D.I.は、0.0と前期比16.7ポイントの改善で、来期も0.0と横ばいを見込みます。

飲食料品小売業の経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」24.2%、「消費者ニーズの変化への対応」22.6%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」14.5%となっています。

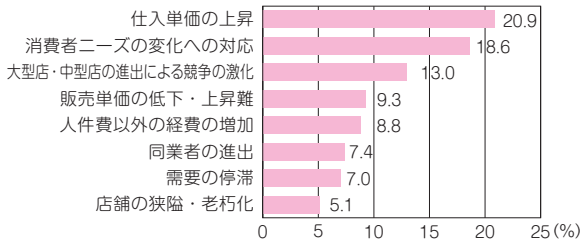
【その他】

業況判断D.I.は、燃料、医薬品・化粧品は大幅な改善、スポーツ・文具、家電は改善していますが、自動車販売は悪化となっています。

来期は、スポーツ・文具は引続き改善する見込みですが、そのほかの業種は横ばいの見通しです。

経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」が依然として多いものの、「消費者ニーズの変化への対応」、「大型店・中型店の進出による競争の激化」等従来からの基本的な課題も目立っています。

■経営上の問題点（複数回答）



Ⅴ　建設業・不動産業（回答63社･･･回答率100%）

■景況

今期の業況判断D.I.は3.2と、前期比1.6ポイントわずかながら改善し、全国調査比では、21.9ポイント上回りました。

来期の業況判断D.I.は△6.3と9.5ポイントの悪化見込みです。

項目別では、売上高、採算は改善していますが、受注額は小幅減少、材料単価は小幅低下していますが、引続き高くなっています。

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」32.4%、「材料の入手難」10.8%、「従業員の確保難」9.5%となっています。

（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　況	1.6	3.2	△ 6.3	△ 18.7
売上高	△ 1.6	4.8	△ 6.3	△ 16.8
資金繰り	△ 3.2	△ 6.3	△ 6.3	△ 11.2
採　算	△ 14.3	△ 11.1	△ 9.5	△ 35.2
受注額	0.0	△ 3.2	0.0	△ 19.3
材料単価	49.2	46.0	41.3	83.1
従業員増減	1.6	△ 1.6	△ 1.6	△ 6.4

■業種別の状況

【総合工事】

業況判断D.I.は、3.6と前期比3.6ポイントの小幅悪化となりました。来期は△10.7と14.3ポイントの大幅な悪化が見込まれています。

項目別には、小幅ながらすべての項目で悪化し、材料単価は60.7と前期比10.7ポイント上昇しています。

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」が36.8%、「材料の入手難」11.8%、「請負単価の低下･上昇難」が10.3%となっています。

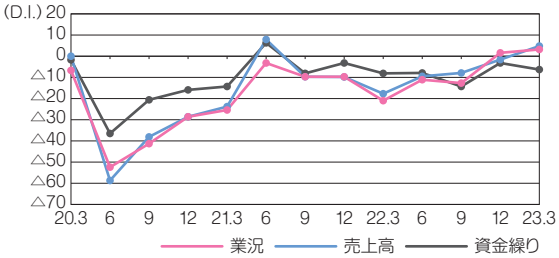
【設備工事】【職別工事】【不動産】

設備工事業の業況判断D.I.は、22.2と前期比22.2ポイントの大幅改善していますが、来期は0.0と大幅に悪化することが見込まれます。

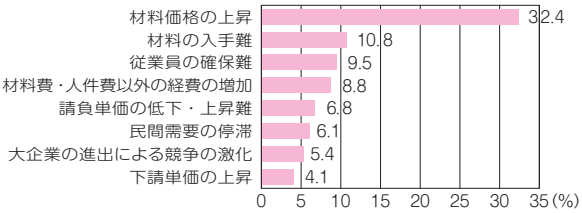
職別工事業の業況判断D.I.は、△28.6と前期41.1ポイントの大幅悪化ですが、来期は0.0と28.6ポイントの大幅改善見込みです。

不動産業の業況判断D.I.は、0.0と前期比21.4ポイント改善していますが、来期は△8.3と8.3ポイントの悪化見込みです。

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点（複数回答）



Ⅵ　サービス業（回答82社･･･回答率100%）

■景況

今期の業況判断D.I.は△8.5と、前期比で3.6ポイント悪化し、全国調査との比較では、業況判断D.I.で8.1ポイント上回りました。

項目別ではすべての項目で悪化しています。また、客単価、仕入単価は低下しています。

来期の業況判断D.I.は△11.0と今期との比較で2.5ポイントの悪化を予想しています。

経営上の問題点は「消費者ニーズの変化への対応」16.9%、「材料等仕入単価の上昇」16.4%、「人件費以外の経費の増加」11.6%、となっています。

（対前年同期比判断D.I.）

	前　期	今　期	来期見通し	全国調査
業　況	△ 4.9	△ 8.5	△ 11.0	△ 16.6
売上高	0.0	△ 4.9	△ 8.5	△ 0.4
資金繰り	△ 3.7	△ 12.2	△ 11.0	△ 16.6
採　算	△ 13.4	△ 19.5	△ 19.5	△ 30.8
客単価	6.1	△ 4.9	△ 3.7	7.1
仕入単価	41.5	29.3	26.8	70.3
従業員増減	△ 2.4	△ 4.9	0.0	△ 5.5

■業種別の状況

【自動車整備】

業況判断D.I.は、△6.3と前期比1.3ポイント悪化し、来期も△6.3ポイントと横ばいが見込まれています。

項目別では、売上高は大幅悪化していますが、採算は小幅改善、客単価、仕入単価とも低下しています。

経営上の問題点は、「材料等仕入単価の上昇」26.3%、「消費者ニーズの変化への対応」、「従業員の確保難」ともに13.2%となっています。

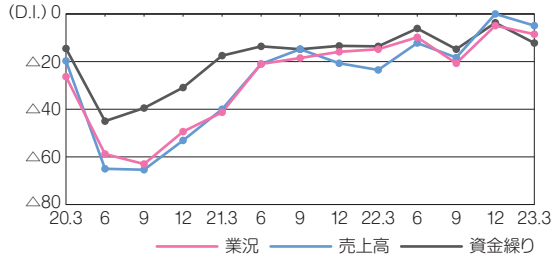
【洗濯・理容】

業況判断D.I.は、△50.0と前期比13.6ポイント悪化しています。来期も△50.0と横ばいで、厳しい状況が継続する見込みです。

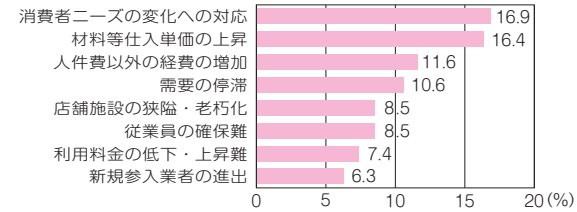
項目別では、すべての項目で悪化していますが、客単価は低下、仕入単価は上昇しています。

経営上の問題点は、「消費者ニーズの変化への対応」20.8%、「新規参入業者の進出」、「利用料金の低下・上昇難」、「需要の停滞」がともに16.7%となっています。

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点（複数回答）

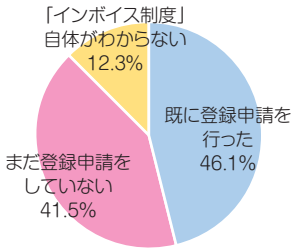


特別調査 【中小企業におけるデジタル化への対応について】

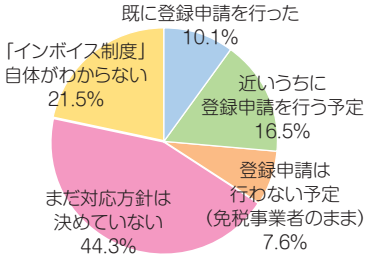
1 インボイス制度(適格請求書等保存方式)への対応

既に登録申請を行った先は、「課税事業者」で46.1%、「免税事業者」で10.1%となっています。また、「インボイス制度」自体がわからないとする先が、「課税事業者」で12.3%、「免税事業者」で21.5%ありました。

■課税事業者



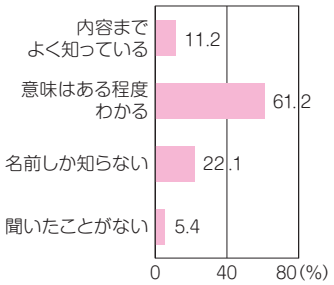
■免税事業者



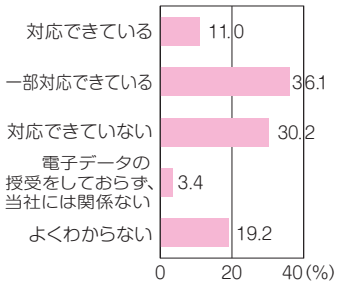
2 電子帳簿保存法改正への認知度と対応

認知度は、「良く知っている」11.2%、「ある程度わかる」61.2%となっていますが、対応については「対応できている」11.0%、「一部対応できている」36.1%に留まっています。

■認知度



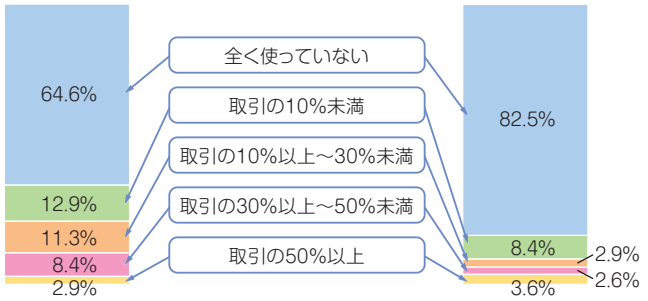
■対応



3 手形、でんさい(電子記録債権)の利用状況

資金決済における手形の利用状況について、「取引の50%以上」2.9%、「取引の30～50%」8.4%ですが、「全く使っていない」が64.6%あります。一方で、でんさいの利用状況は「全く使っていない」82.5%と圧倒的になっていますが、「取引の50%以上」も少数ながら3.6%存在しています。

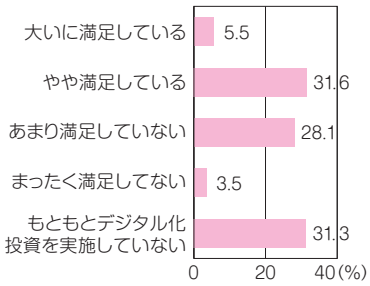
■手形　■でんさい



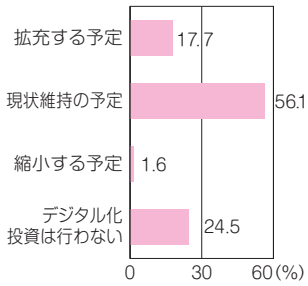
4 デジタル化投資の費用対効果と今後の計画

満足度については、「満足」37.1%、「不満足」31.6%、「実施していない」31.3%となっていますが、今後の計画については「現状維持」が56.1%、「行わない」が24.5%であり、「拡充予定」は17.7%に留まっています。

■デジタル化投資の満足度

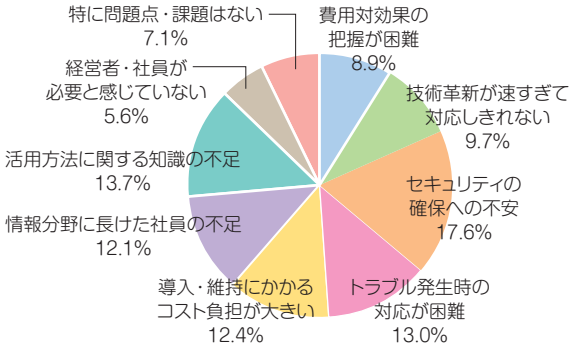


■今後のデジタル化投資の計画

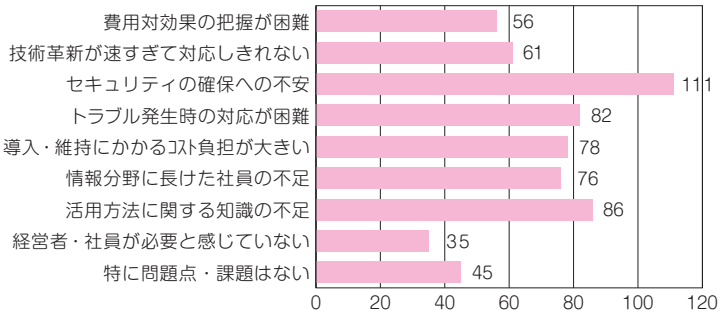


5 デジタル化を進めるに際しての問題点・課題

セキュリティの確保への不安が17.6%で最も多く、活用方法に関する知識の不足13.7%、トラブル発生時の対応が困難13.0%、導入・維持にかかるコスト負担が大きい12.4%、情報分野に長けた社員の不足12.1%と続き、問題点・課題は多岐にわたっています。一方、特に問題点・課題はないとする先は7.1%にとどまっています。



■問題点・課題



今回の調査について

【調査方法】

調査時期	2023年3月
調査内容	①今期の状況：前年の同時期(2022年1～3月期)と比較した今期(2023年1～3月期)の状況
	②来期の見通し：前年の同時期(2022年4～6月期)と比較した来期(2023年4～6月期)の状況
調査方法	アイオー信用金庫及び伊勢崎商工会議所の調査員による面談または聞き取り
対象企業	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の事業所

※毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

【調査対象企業数・回答企業数】

	調査対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	112	112	100%
卸売業	23	23	100%
小売業	88	88	100%
建設業・不動産業	63	63	100%
サービス業	82	82	100%
合計	368	368	100%

アライクリーンタオル株式会社

会社概要

設　　立	昭和45年4月
代 表 者	代表取締役社長　新井 邦彦
所 在 地	伊勢崎市境伊与久1920
T E L	0270-76-3131
資 本 金	1,000万円
従業員数	69名
事業内容	貸しおしぼり、理美容客向けタオルレンタル、飲食店向け白衣・コック服のレンタル、レンタルマット、レンタルモップ

【基本理念】

「Refresh Your Heart!（あなたの心を爽快に!）」

・脇役のおしぼりが、あなたの心にまで届く存在でありたい。

・おしぼりで、みんなの笑顔を創造します。

おしぼりは、飲食店をはじめ、オフィスや工場など、多くの場面で使用されるようになりました。日本発祥の「おもてなし」の文化といえるでしょう。2013年12月には「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録され、和食（日本人の伝統的な食文化）と共に「おしぼり」の存在にも関心が高まってきております。

夏は冷たく、冬は温かく提供することで、より一層の付加価値があります。時代に合ったサービスを模索しながら、高品質で価値あるおしぼりを、これからも提供し続けたいと思います。

【おしぼりの歴史】

古くは「古事記」や「源氏物語」が書かれた時代まで遡ると考えられています。前身となっているのはお公家さんが客人を家に招く際に提供した“濡れた布”。

そして、江戸時代になると木綿の手ぬぐいが普及し、旅籠（はたご）と呼ばれた宿屋の玄関に、旅人のために水を張った桶と手ぬぐいが用意されるようになります。客は手ぬぐいを桶の水に浸してしぼり、汚れた手や足をぬぐいました。この“しぼる”という行為が、おしぼりの語源になっていると言われています。

こうしておしぼりは、客人や旅人の汚れた体をきれいに拭うため、そして疲れを癒すために欠かせない存在となりました。

【SDGsな取り組み】

現代では、木材パルプやコットンでつくられるおしぼりはビニール製の袋に入れてある事が多く、1年で約29億枚近くの紙おしぼりが袋と共に廃棄されています。

布製のおしぼりは使用後に回収・洗濯され、再使用されます。「リデュース、リユース、リサイクル」が叫ばれる中、現代でもその姿を変えずにリユースを体現しているもの、それがおしぼりなのです。

【3つの特徴】

当社では、①厚生労働省衛生指導基準に基づき、徹底した衛生管理に努めています。②回収・洗浄・パッキング・配達に至るまで、自社工場にて徹底管理しておりますので安心してご利用いただけます。③数量の多少に関わらず、自社配達員が定期的に納品・回収をしております。

【新たな取り組み】

2022年10月にリネンサプライ工場を新設し、理美容業界向けのタオルレンタル事業や、ユニフォーム等の事業がスタートしました。心からお客様に寄り添い、ニーズに応えるサービスの提供を目指します。

おしぼり工場

新設したリネンサプライ工場

中小企業経営者のみなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

●**契約者貸付けの利用が可能**
契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

●**共済金の受給権は差押禁止**
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

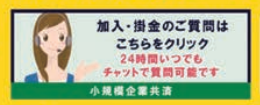
3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

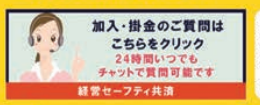
Be a Great Small.
中小機構

24時間・365日お問い合わせ可能になりました

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。
詳しくは下記のＱＲコード又はホームページからご確認ください。



小規模共済 検索



経営セーフティ共済 検索

5S Shinkin Bank

Sustainable　Solution　Strategy　Support　Smile

5Sを掲げ、地域貢献するしんきんを目指します。

Sustainable　持続可能な＝いつまでも常に地元のみなさまとともに
Solution　解決＝地元のみなさまの悩み、不安など課題を解決
Strategy　戦略＝緻密な戦略を持って
Support　応援＝地元のみなさまの夢を応援する
Smile　笑顔＝あたたかいハートの笑顔で

ケイエール

新現役マッチング交流会

新入社員研修会

DXフォーラム

5S Shinkin Bank

地元のソリューションをミライへ。
アイオー信用金庫